

横路議長出張日程(案)

[東日本大震災犠牲者石巻市慰霊祭] H23.6.6 現在

○6月17日(金)

16:08 東京駅 発(やまびこ241号)
18:29 仙台駅 着
18:35 同 発(徒歩)
18:40 宿舎 着 「ホテルメトロポリタン仙台」

夕食

—ホテルメトロポリタン仙台 泊—

○6月18日(土)

8:50 宿舎 発(借上車)
10:20 式典会場 着 「石巻市総合運動公園」
10:30 } 石巻市慰霊祭
(議長所作: 追悼の辞、献花)
11:30 }
11:35 同 発(借上車)
13:05 仙台駅 着

昼食

14:34 同 発(やまびこ258号)
16:56 東京駅 着



東日本大震災犠牲者

石巻市慰霊祭

と き 平成23年6月18日(土)
午前10時30分

ところ 石巻市総合運動公園内特設テント

石巻市

石巻市慰霊祭次第

- 1 開 会
- 2 黙 禱
- 3 式 辞 石巻市長
- 4 追悼の辞 内閣総理大臣 (松本 防衛担当大臣)
衆議院議長
参議院議長
宮城県選出国會議員代表 (安住 淳君)
宮城県知事
石巻市議会議長
- 5 御遺族代表の言葉
- 6 御遺族代表献花
- 7 主催者・御来賓献花
- 8 参列者献花
- 9 閉 会

慰霊祭終了後、一般参列者による献花を行います

石巻市の被災状況

平成23年6月14日現在

	地区	世帯数	人口	死者	行方不明者	避難者	避難所数	地区人口に占める避難者割合
①	石巻	44,854	113,054	2,372	2,188	3,659	57	3.24%
	河南	5,489	17,240			335	5	1.94%
	牡鹿	1,853	4,533			725	12	15.99%
②	河北	3,636	11,946	725	582	696	3	5.83%
	雄勝	1,637	4,300			201	7	4.67%
	桃生	2,308	7,853			14	1	0.18%
	北上	1,151	3,896			400	9	10.27%
	合計	60,928	162,822	3,097	2,770	6,030	94	3.70%

※ 死者数は安置された遺体数であり、身元不明者を含みます。

行方不明者数は4月4日現在となります。

①は石巻警察署管轄、②は河北警察署管轄となります。

世帯・人口は平成23年2月末現在になります。

去る3月11日、午後2時46分に発生した三陸沖を震源とする大地震とその後襲来した巨大津波は、石巻市に未曾有の大災害をもたらし、3千名以上の尊い生命が無残に奪われたほか、今なお2千名以上の方々が行方不明となっております。この悪夢のような大震災のあとに残ったものは、市街地や各集落を覆い尽くさんばかりの瓦礫の山と、家族、友人を失った深い悲しみであり、ここに謹んで犠牲となられました皆さまのご冥福をお祈り申し上げますとともに、ご家族を亡くされたご遺族の皆さまに心からお悔やみを申し上げます。

今般の大震災により、私たちが長年にわたり築き上げてきたものが瞬時にして奪われ、今なお多くの市民が避難所などでの不便な生活を余儀なくされております。石巻市としましては、亡くなられた方々の無念の魂にお応えできるよう、単に復旧、再生だけではない、発展する「新しい石巻市」を創造していくことをここにお誓い申し上げ、まちの復興と市民の皆さまの暮らしの再建に全力で取り組んでまいる所存であります。

今後とも、我がまち石巻の復興に向け、なお一層のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

石巻市長 亀山 紘

東日本大震災犠牲者石巻市慰霊祭における議長追悼の辞（案）

（平成二十三年六月十八日（土） 午前十時三十分）

（於 石巻市総合運動公園 大型車両駐車場）

本日ここに、東日本大震災犠牲者石巻市慰霊祭が行われるにあたり、謹んで追悼の言葉を申し上げます。

去る三月十一日、この地を襲った大地震と巨大津波は、海岸沿いの美しい街並を破壊し、三千名を超える方々の尊い命を奪いました。また、自衛隊や警察官をはじめ多くの人々の懸命の捜索にもかかわらず、未だ二千八百名近くの方々が行方不明となっております。お年寄りから幼子まで、石巻市民の多くの方々が犠牲となられたことは、誠に痛恨の極みであります。今はただ、御霊のご冥福を心からお祈りするばかりです。

私も四月に入り雨の日でしたが、初めて被災地を訪問させていただきました。三六〇度見渡す限りガレキ、自動車や船が散在し、建物の骨格だけがところどころに残っている信じられない凄惨な状況でした。

そんななか、海のみえるガレキの側に一台の小型車が止まっており、一人の女性が運転席に座っておられました。一時間後、そのそばを再び通ると、まだ海をみつめてハンカチを手に泣いておられました。お子さんを亡くされたのだろうか、それともご両親かご主人なのだろうか。どれだけ多くの方々が、それぞれの大切な人を一瞬のうちに失って、深い悲しみ、絶望感、喪失感にとらわれたことでしょう。

震災最大の被害を受けた市内の保育所、幼稚園、学校や福祉施設、病院など地域の生活に必要なインフラが壊滅的な被害を受け、また我が国でも有数の水揚量を誇る石巻漁港を含め、地域産業も大打撃を受けました。市内各地の想像を絶する被害状況に日本中が悲しみに包まれたのです。

家や家財を失い、今なお不自由な生活を強いられている方々が多いことと思いますが、皆様は気持ちを奮い立たせながら自ら立ち上がり、復興への道を懸命に歩まれ、努力を重ねておられます。震災の傷跡はあまりにも深く、大きいものがありますが、今後とも復興のための対策が迅速かつ効果的に進むよう私も全力を傾注してまいりたい所存です。

二度とこのような大惨事が起こることのないよう、この災害を尊い教訓として強く心に刻み、後世に伝えるとともに、災害に強く安心して生活ができる都市として石巻の街を甦らせるため、なお国や県の一層の協力支援が必要です。これこそが、犠牲となられた方々をお慰めする唯一の途であり、私どもに課せられた重大な責務であると存じます。政治の場も心をひとつにして、与野党などという次元をこえて力をあわせ、被災地の困難、

悲しみによりそつていかなければなりません。本日の慰霊祭にあたり、この使命を達成するために最善を尽くすことを固くお誓い申し上げます。

終わりに、亡くなられた方々の御霊のとしえに安らかならんことをお祈りし、ご遺族の皆様には深甚なる弔意を表しますとともに、石巻市の一日も早い復興を願ひまして、追悼の言葉といたします。

平成二十三年六月十八日

衆議院議長 横路 孝弘